

田中研究室の紹介

田中研新聞

第11号

2014年
7月1日発行

2014年7月1日号
甲南大学知能情報学部田中雅博研究室 毎月発行
http://canonion.is.konan-u.ac.jp
編集長：大畔 裕 (M2)
編集委員：吉岡一樹 (M1)・宮尾翔太 (B4)

3回生の皆さんは知能情報学実験及び演習に参加し、いろいろな研究室を回ったと思います。田中研究室では今年も多数の学生が来てくれて、みんな画像認識の演習に意欲的に取り組んでくれました。気になる研究室がある人は、教員から話を聞いて配属後のイメージを少しでも掴めたで

大畔 裕

A1..プロジェクト演習で田中教授に指導してもらったとき、研究紹介でセグウェイを見せてもらいました。元々のづくりや動くものが好きだったこともあり、絶対にこれに関わりたいと思っていました。田中教授の人柄も良く、話しやすかったので、この頃から第1希望は田中研にしようと考えていました。

A2..希望通り、セグウェイに関わることができ、私はロボットの自律移動に関する研究として、自己位置推定と移動制御について取り組んでいます。ロボットには多数のセンサが内蔵されていたり取り付けられていたりして、それらから受け取ったデータを適切に処理して制御しなければならず、計算が複雑になりがちですが、自分が作ったプログラムが動いたことが一番実感できるのは、やはり形があるロボットなどではないかと思っています。センサ類は理屈では動くはずの状況で動かなくなったりするなど、とても苦労させられることもありすが、これほどの達成感はないかな味わえるものではないです。

しよ。田中研究室への配属希望を考えている人には実験及び演習やプロジェクト演習などで田中教授と話したことがある人も多いと思いますが、どんな学生が所属しているか、あまり知らない人が多いのではないかと思います。そこで、今回は研究室配属前ということもあり、院生4人が次

A3..ロボットの研究は

人生でなかなか経験できるものではないし、しっかりと取り組むたいと思っていました。また、学部の卒業研究だけでは中途半端に終わってしまうと感じていたので、配属される前から大学院は視野に入れていました。甲南の知能情報は進学率が約1割と他大学と比べて少ない印象がありますが、しかし、進学というのには決して特別な選択ではなく、半数以上進学する大学も多く存在します。もちろん研究に対して何の興味もやがりいも感じなければ、誰も幸せにならないのでお勧めできませんが、4回生に上がり研究をやり始めて面白みを感じたら、進学を検討してみてください。



でも貴重な経験になると思いますよ。
A4..田中教授の指導はとても熱心で、研究に対してだけでなく、マナーや一般常識など、社会人に必要なスキルを身につけるべきことなど、様々なアドバイスを貰えます。毎週のゼミでは1週間の進捗報告を行い、田中教授だけでなく他の学生からも意見を出しあえます。楽か厳しいかは聞かれると厳しい方ではあるのですが、ただ卒業研究の単位の欲しいだけの人には向きませんが、自分を高めたい、しっかり研究に取り組みたいという人にとって、とても良い環境だと思えます。

の質問に答えました。

Q1..田中研究室に入った理由

Q2..研究内容

Q3..進学した理由

Q4..田中研究室の良いところ

このほかのことや、学部生にも話を聞いてみたい人は、是非研究室まで遊びに来て下さい！

郭 哲史

A1..私は元々ロボットに興味があつて知能情報学部に入りました。勉強を進めていくうちに特に画像処理に通じる部分に興味を沸くようになりました。田中研ではその2つともをやっていたため配属に至りました。

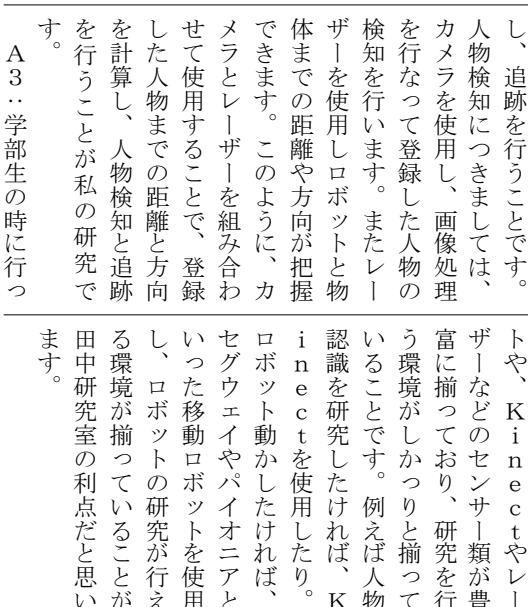


野々口 誠人

A1..以前から画像処理について研究したいと考えていたのですが、研究室紹介でも画像処理をテーマにした研究室はなかなかありません。どこを志望するかを悩みましました。そんな中、先輩から



A2..カラー画像から物体の特徴を取り出すというのはコンピュータビジョンでよくある話ですが、暗がりになるとカラー画像では何が映っているかわからなくなりま。そこで物体までの距離を測って、そのデータの基にしてカラー画像の代わりに画像を作ることで、暗くても物体の特徴を取得する、といった研究を行っています。



A3..学部生の時に行っていた研究が中途半端で終わってしまったので、その研究を最後までやり通したいと思い、進学を希望しました。また研究を続ける内に実験が成功した時はもちろん嬉しいのですが、失敗した時に、なぜ失敗したのか考え、次にこうすれば成功するのではないかと思えることも楽しくなってきました。研究がメインである大学院への進学を希望しました。

吉岡 一樹

A1..田中研究室に配属されるとロボットを使用できると聞いたからです。以前からロボットに興味があり、ロボットに触りたいという理由で甲南大学に進学しました。ですから、そのロボットを使って研究ができる田中研究室への配属を希望しました。



A4..自分で進んでやりたいことができるので、思っている考えがあるならば、早い段階で相談してみるといいでしょう。研究以外でも例えば「みんなでこんなアプリを作りたい」なんて意見もあれば言ってみるのもいいかもしれま。ね。

A3..学部生の時に行っていた研究が中途半端で終わってしまったので、その研究を最後までやり通したいと思い、進学を希望しました。また研究を続ける内に実験が成功した時はもちろん嬉しいのですが、失敗した時に、なぜ失敗したのか考え、次にこうすれば成功するのではないかと思えることも楽しくなってきました。研究がメインである大学院への進学を希望しました。

わたしの訪れた町

第3回 ウィーン

私にとって、ウィーンは1年以上住んだ町として、他の外国の町とは異なる意味を持つ。1988年、妻と、4歳と2歳の娘を同伴して、大阪国際空港より旅立った。32歳の時である。目的は、ウィーン郊外ラックセンブルクという村にある、I I A S A (国際応用システム解析研究所) で研究員として1年間滞在することであった。それまで国際会議に行ったこともなく、外国人のリーダーの下で共同研究をすることなど、行く前はイメージも湧かなかつたが、そういう話には後先のことを考えずにとにかく参加するという私の性格の賜物だと思ふ。I I A S Aでの1年半のことを思い出しながら書き出したら、1冊の本ができるくらい今でも鮮明に覚えていることがたくさんある。しかし、本連載において、1回分以上の紙幅を占領することは新聞の性質上好ましくないと考え、町の印象を中心に書くにとどめることにしよう。

今は2014年だから、既に26年前の話になる。日本だと、同じ町でも景色は全く異なっていると言っても良いが、ヨーロッパの古い町は驚くほど変化しない。建物ひとつひとつは排気ガスで黒くなって、ちよつと古い建物は素人の作ったような、鉄筋すら入っていない脆弱な構造だが、地震がないおかげでそれでも百年くらいは十分もち、ほとんどの人は、築後数十年の建物を、壁紙などを換えることで一見新しく見せて住んでいる。おそらく、建築の際に様々な制約があるのだろう、高さの

リアでは、日曜日は、乗り物、レストラン、花屋くらいしか営業されていなかった(今はどれくらい変わったか、確認できていない)。ウィーンといえば、音楽の都。私は、話がわからないためにストリーマーのあるオペラがあまり好きではなかったが、Staatsoper, Volksoper, Opernなどでは毎日のようにオペラが開かれ、研究所の電に乗って眺めていると、ヨーロッパに来たなあと感概が湧き、ごく自然に感動してしまう。その中で、人々の日常生活も極めて定型的で、毎週毎週同じ生活を送り、夏になると、2、3週間のUrlaub(休暇)を取るといったのが彼らの人生なのである。決まった生活をするということに価値を見いだしている彼らは、少々天気が悪かろうが、休日には家族連れで郊外の公園に繰り出し、雨が降っても店の外のテーブルで食事をして、寒くてもブルサイドや公園で水着姿で過ごす。便利なのが良いことだというのは日本人特有の感覚であり、ヨーロッパでは全く常識ではない。便利ということ、誰かが自分の生活を犠牲にするということであり、そのことに昔から気づいているのがヨーロッパ人である。日本では、不平不満を言うことが悪いことと考えられておらず、匿名ですらクレームを付けることがおとつらに許容されている(それが奨励されることすらあるのは私にすら驚きである)が、ヨーロッパでは、考えられないことである。日曜日にショッピングを楽しむということは、誰かが日曜日に働くことになるということである。それを嫌うオースト

リアでは、日曜日は、乗り物、レストラン、花屋くらいしか営業されていなかった(今はどれくらい変わったか、確認できていない)。ウィーンといえば、音楽の都。私は、話がわからないためにストリーマーのあるオペラがあまり好きではなかったが、Staatsoper, Volksoper, Opernなどでは毎日のようにオペラが開かれ、研究所の電に乗って眺めていると、ヨーロッパに来たなあと感概が湧き、ごく自然に感動してしまう。その中で、人々の日常生活も極めて定型的で、毎週毎週同じ生活を送り、夏になると、2、3週間のUrlaub(休暇)を取るといったのが彼らの人生なのである。決まった生活をするということに価値を見いだしている彼らは、少々天気が悪かろうが、休日には家族連れで郊外の公園に繰り出し、雨が降っても店の外のテーブルで食事をして、寒くてもブルサイドや公園で水着姿で過ごす。便利なのが良いことだというのは日本人特有の感覚であり、ヨーロッパでは全く常識ではない。便利ということ、誰かが自分の生活を犠牲にするということであり、そのことに昔から気づいているのがヨーロッパ人である。日本では、不平不満を言うことが悪いことと考えられておらず、匿名ですらクレームを付けることがおとつらに許容されている(それが奨励されることすらあるのは私にすら驚きである)が、ヨーロッパでは、考えられないことである。日曜日にショッピングを楽しむということは、誰かが日曜日に働くことになるということである。それを嫌うオースト



田中雅博

母校の中学校で教育実習

多くの人に支えられて無事終了

6月2日から6月20日まで、母校の中学校へ教育実習に行っていました。3週間という短い間でしたが、大学では決して学べないことを多く学べ、貴重な経験をさせていただきました。

1週目は、とにかく学校に行き1日を過ごすことに精一杯で、慣れないことに戸惑う毎日でした。そのような毎日のなかで、生徒に「先生、先生」と呼ばれるたびに、照れくさく、嬉しく思う反面、「自分は先生なのだ。」という自覚と責任を感じるようになりました。2週目からは、授業実習が始まりました。初めての授業で教壇に立ったときは、緊張で足が震え、上手く話すことができませんでしたが、授業が上手いかわりに落ち込み、逃げ出さなくなりました。

3週間の実習を通して、『教師になりたい。』という思いが強まりました。振り返ると、様々な方に支えられた3週間でした。最後の最後まで熱心に指導してくださった先生方、私の授業を一生懸命に受けてくれた生徒たち、授業の練習を一緒にしてくれた実習生たちなど、たくさんの方々がいてくれたおかげで、無事に実習を終えることができました。この経験を今後にも生かし、残りの大学生活もがんばっていかようと思えます。(有年恵魅)



初めての広島旅行 有名所を片っ端から

広島県の観光名所といえば原爆ドーム、日本三大百景でもある厳島神社が特に有名である。しかし、これらの場所には訪れたことがなかった。この土日を有効に使うため、原爆ドームでは写真で見たままかと思いきや、単にただ広い場所にあるわけではなく現在公園と一体化している。ちなみに元は広島県の物産陳列館らしく、決してプラネタリウムのものがない。二度と味わうことができない感動がある。若い皆さんには、今の年でもない味わうことができない経験があるはずだ。それをきちんと経験してほしい。

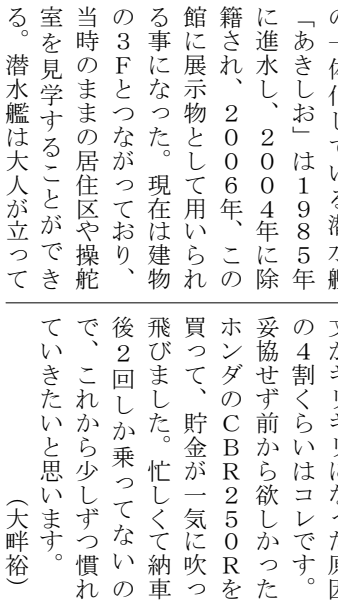
(田中雅博)

広島県の観光名所といえば原爆ドーム、日本三大百景でもある厳島神社が特に有名である。しかし、これらの場所には訪れたことがなかった。この土日を有効に使うため、原爆ドームでは写真で見たままかと思いきや、単にただ広い場所にあるわけではなく現在公園と一体化している。ちなみに元は広島県の物産陳列館らしく、決してプラネタリウムのものがない。二度と味わうことができない感動がある。若い皆さんには、今の年でもない味わうことができない経験があるはずだ。それをきちんと経験してほしい。

されてはいる。実際に触ることもできるので、新鮮で面白かった。

他の観光名所としてJR呉駅の周辺には戦艦大和の記念館として建てられた「大和ミュージアム」がある。ここには戦艦「大和」の成り立ちを中心にミッドウェー海戦やマリアナ沖海戦、レイテ海戦中の資料があり、戦艦「大和」がなぜここまで世界で有名であるのか、どのようにして建造されたのか、設計時の工夫などが分かる。もちろん大和のことだけではなく、呉の鎮守府がどのような場所であったかなどの軍事記録や、戦時中にしようされた軍の所有物があり、大きなものでは、艦載機の模型や重巡洋艦「青葉」で装備されていた望遠鏡や尾部の主砲があり、細かなものでは艦で実際に使用していたと思われるトンカチなども展示されており、当時のことをよくわからないなりに見に行っても艦ごとの違いがわかり、興味深かった。

近辺に一際目立つ潜水艦と一体化している建物があり、つづのくじら館と呼ばれる建物がある。潜水艦の形が鯨のような形をしていることからこの名前がついている。つづのくじら館では海上自衛隊の活動についての資料館である。潜水艦と掃海艇についての資料の展示・保存がされており、1Fに海上自衛隊の歴史、2Fに掃海艇の活躍、3Fに潜水艦の活躍について記録がある。この館の一体化している潜水艦「あきしお」は1985年に進水し、2004年に除籍され、2006年、この館に展示物として用いられる事になった。現在用いられている3Fとつながっており、当時のままの居住区や操舵室を見学することができ、潜水艦は大人が立つて



研究室対外活動予定

7月11日...見学する高校生にKORoをデモ。
7月14日...和田研、永田研と卒論合同中間発表会。
7月20日...オープンキャンパスでKORoのデモ。
8月3日...オープンキャンパスでKORoのデモ。
8月19日から9月17日まで大阪梅田グランフロント・トナレツジキャピタルで、田中研究室関連の装置数個を出展。

編集後記

とうとう7月になったわけですが、今年ってあまり雨降ってないですね。水は足りるんでしょうか。雨が降ったらロボット実験ができなくなるので、個人的には助かりました。6月の後半は学会に提出する論文に追われて頻りに実験していたので、これで降ってたら本当にマズかったかもしれないです。

話は変わりますが、とうとうバイク買いました。論文がギリギリになった原因の4割くらいはコレです。妥協せず前から欲しかったホンダのCBR250Rを買って、貯金が一気に吹っ飛びました。忙しくて納車後2回しか乗ってないので、これから少しずつ慣れたいと思います。(大野裕)